

山手

板橋・ホテル館問題

「成虫持ち込み証言も」

区側が区議会委で説明

板橋区がホテル飼育施設の「ホテル生環境館」(高島平四)の廃止を検討している問題で、区議会市民環境委員会が十九日に開かれ、区側は「ホテルの成虫を(外部から)持ち込んでいた」という関係者の証言がある」と説明した。これに対し、飼育担当をしていた区職員は本紙の取材に「あり得ない」と反論。今後、区の調査が注目される。

(村松権主蔵)

飼育担当者「あり得ぬ」



委員会で区は、一月に飛んだ成虫は約一万二千匹に実施した幼虫の生息数調査の結果、調査結果は少なすぎらぎの二十七カ所を調べる」と疑問が出た。区側は、川底の生物を数える国と同じ手法で調査しており、問題はな

た飼育担当者は「言い掛かりで信用問題にかかわる。ホテル館では卵から成虫への世代交代が続き、みんなの見える場所で産卵と孵化があった」と強調した。委員は「区の責任として説明するべきだ」と求め、区は「(事実関係の)調査を継続する」と答弁。「ホテル館への区民の評価は高く、廃止に突き進むのはおかしい」という委員には「決定に区民の声を反映させるのは当然だが、どこまで反映させるかは財政状況や政策の優先度による」と答えた。

昨年夏、ホテル生環境館では約一万匹が乱舞したという「板橋区で(阿部富男さん撮影)」

委員らは区民向けに存廃方針の説明会を開くよう要望し、区側は実施を約束した。委員会でホテル館の存続を求める陳情も審議したが、結論は出ず継続審議となった。